

くりんく



『くりんく』とは「栗原をリンクする」の意味。
Linkリンクとは、つなぐこと。連結すること。連鎖。

発行:栗原市在宅医療・介護連携支援センター
住所:栗原市築館宮野中央三丁目1番地1
TEL:0228-21-5357
FAX:0228-21-5358
メール:zaitaku@kam.or.jp



今年も残すところあと僅かとなり、街並みも年の瀬のあわたたしさを感じさせます。今回のくりんく第18号は、4月から11月に開催いたしました主な事業をご紹介します。今年もたくさんのお力添えをいただき、医療介護連携を推進することができました。ありがとうございました。

令和6年度医療と介護の多職種交流会～テーマ:あなたが大切にしていることは？～

4月23日(火)栗原中央病院講義室で開催。48名の専門職の方がご参加くださいました。アイスブレイク『迫川を渡ろう』では、「どうやったら条件に合うように迫川を渡れるか?」を、グループワークしました。ユニークな方法を考えるグループもあり、緊張が解れるアイスブレイクとなりました◎

その後、今回の交流会のテーマである『あなたが大切にしていること』について、デストライアルを通して考えていただきました。家族やお子さんのこと…涙ぐみながら書いている方もいらっしゃいました。

参加者からは「利用者様の大切に思っていることを見つけて理解し、ケア援助に繋げていけるか考えさせられた」「久しぶりに他事業所の方と顔合わせができ、参加して良かった」などの感想が寄せられました。新年度の始まりに、グッと距離が縮まった多職種交流会となりました。



栗原市医師会会長
宮城島堅先生より
開会のご挨拶



「これだと羊が食べられちゃうし…」あれこれと活発な意見交換。果たして条件どおりに川を渡ることができたのでしょうか?！



デストライアルではカードを一枚ずつ手放します。最後まで残った「大切なもの」とは?



栗原薬剤師会副会長
伊地智隆之先生
より閉会のご挨拶

令和6年度さざほざの会 -事例を通して連携深化-

5月10日(金)、第1回さざほざの会を開催。居宅介護支援事業所イークアル 管理者 佐藤健太郎様を講師に迎え、『ケアマネジメント(医療と介護の連携)』をテーマにご講話をいただきました。『連携について自分が気をつけていること、うまくいっていること』『入退院時の情報はどこを意識して情報提供を行ったか』などについて、グループ毎にディスカッションを行い、異職種間の連携を深めました。

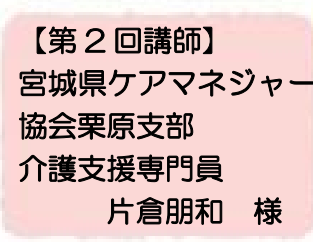
第2回目は8月7日(水)に『本人主体の意思決定支援～高齢者施設・高齢者支援について～』をテーマに、宮城県ケアマネジャー協会栗原支部 片倉朋和様にご講話を頂戴しました。病院、施設での意思決定の場面で、自分の関わりはどうだったかを振り返る機会となりました。

第3回目は10月8日(火)、『介護保険申請について』をテーマに、栗原中央病院 野口洋子外来看護師長、地域医療連携室 浅田祥子看護師長、MSW 佐藤祐介様より寸劇を交えながら事例提供をいただき、事例に基づいてグループワークを行いました。介護保険申請について病院側ではこういう説明をしたけれど、皆さんの立場ではどのように説明をしますか?ということ、各グループで話し合っていました。

平日の14時から15時という、忙しい時間帯にも関わらず、どの回も50名を超える専門職の方がご参加くださいました。



【第1回講師】
居宅介護支援事業所
イークアル
管理者 佐藤健太郎様



【第2回講師】
宮城県ケアマネジャー
協会栗原支部
介護支援専門員
片倉朋和 様



【第3回事例提供】
栗原中央病院 野口洋子師長(右)
栗原中央病院 浅田祥子師長(中央)
栗原中央病院 佐藤祐介MSW(左)

医療の知識を深めよう！令和6年度医療勉強会

医療職と介護職が互いの専門性や知識を語り合い、医療の知識を深める『医療勉強会』を、栗原中央病院講義室で月1回テーマを決めて開催中。毎月多くの専門職の皆さんにご参加いただいている勉強会となっており、急遽会場変更をした月もありました。「明日からの業務に活かせる！」とだけ思っていただけるような内容となっておりますので、参加を希望される方は、在宅センターからのお知らせをお見逃しなく！！



第1回
(5/21開催)
テーマ『褥瘡』
71名参加

【講師】
栗原訪問看護ステーション
皮膚・排泄ケア認定看護師
大内 淑子様

第2回
(6/18開催)
テーマ『薬』
82名参加



【講師】
栗原中央病院
日本調剤くらはら薬局
アイン薬局築館店
薬剤部長 高橋裕保様 (左)
店舗責任者 今井拓弥様 (中央)
薬剤師 佐々木一生様 (右)

第3回
(6/18開催)
テーマ『在宅医療の実際』
70名参加



【講師】
やまと在宅診療所栗原
院長 土屋菜歩先生



第4回
(8/20開催)
テーマ『心臓』
74名参加
【講師】
栗原中央病院 循環器内科
医師 高田剛史先生 (左)
栗原中央病院心不全療養指導士
澤邊直美様 (右)



第5回
(9/17開催)
テーマ『糖尿病』
92名参加

【講師】
やまと在宅診療所栗原
医師 三田貴士先生



第6回
(10/22開催)
テーマ『急変時の対応』
112名参加

【講師】
令和クリニック
院長 斉藤揚三先生 (左)
栗原消防署救急係
救急係長 熊谷大樹様 (右)



第7回
(11/12開催)
テーマ『癌・緩和ケア』
88名参加
(ハイブリッド形式)



【講師】
東北大学大学院医学系研究科
緩和医療学分野 伊藤圭一郎先生

医療勉強会 今後の予定

- 第8回「感染症」 12/17 (火) 18時～ この花さくや姫プラザ
- 第9回「認知症」 1/21 (火) 18時～ この花さくや姫プラザ
- 第10回「口腔ケア」 2/18 (火) 18時～ 栗原中央病院講義室
※ハイブリッド形式
- 第11回「誤嚥性肺炎」 3/18 (火) 18時～ この花さくや姫プラザ

意思決定をする人の支援者としての自分を深めよう-いしふか-

意思決定支援者としての支援力アップを目的とした全4回シリーズの勉強会です。第1回目が令和6年6月6日(木)、第2回目を9月5日(木)に開催しました。第1回目は、やまと在宅診療所栗原院長 土屋菜歩先生を講師にお招きし、意思決定支援のプロセスについてご講話をいただきました。第2回目はコメンテーターに令和クリニック 院長 斉藤揚三先生、やまと在宅診療所栗原院長 土屋菜歩先生をお招きし、事例を通して学習しました。自分ならどのような支援を行うかを活発にディスカッションしました。コメンテーターの先生からは、「利用者さんのことをよく考え、日々接していることが発表を通して伝わってきた」「その方の本心を知る事で、違う選択肢も出てくる」というコメントを頂戴しました。最後は、デストラリアルを体験し自分の本心と向き合ってみました。皆さんの意思決定支援の力量がブラッシュアップされますよう、次回のいしふかもご期待ください。



全員に共通する正解が無い意思決定支援。だからこそ、グループワークでは様々な視点の意見が発表されました。



令和クリニック 院長 斉藤揚三先生(右)、やまと在宅診療所栗原院長 土屋菜歩先生(左)にもデストラリアルを体験していただきました。

【編集後記】今年の漢字は『金』でした。“カネ”と読むか“キン”と読むかによって、今年1年を総括する意味が全く違うなあと感じたのは、私だけでしょうか。今年も大変お世話になりました。来年も皆様にとってすてきな1年でありますように。